

令和6年度 第2回上下水道DX推進検討会 議事概要

日時：令和7年3月13日(木) 10:00～12:00

開催場所：デジタル庁 20階庁議室

開催方法：対面＋オンライン会議（teams）

出席者：委員名簿別紙

議事：第1回検討会を踏まえた検討状況について

事務局より4つの検討項目（①業務の共通化、②情報整備・管理の標準化、③DX技術実装、④現状可視化）の概要を説明し、各委員より、各団体でのDX等の事例や本検討会での取組を通じて目指していきたい事項等について意見交換が行われた。主なやりとりは以下のとおり。

（1）業務の共通化

- 本業務の成果品が、手引きというよりも事例集の扱いになるのではないか。
- DX技術の運用においては、管理する職員に対する教育も必要。
- DX技術の導入後の評価方法として、費用対効果等の整理が必要。
- 誰に対する手引きなのかターゲットを念頭におく必要性。

（2）情報整備・管理の標準化

- 情報の整理・管理にはデータが必要であり、今後、簡易水道、集落排水等については深堀が必要。
- データベースを横並びで比較できるようにするため、用語の統一が必要。
- DXについての、中小自治体の支援を検討してほしい。

（3）DX技術実装（上下水道DX技術カタログ）

- カatalogの最新情報はHPで掲載したうえで、定期的にアップデートしてほしい。
- DXカタログについてオンライン説明会があるとよい。
- 今後の更新で、本格導入だけでなく実証中の民間技術掲載を検討してほしい。
- 今後の更新で、導入効果を数値として「見える化」することを検討してほしい。
- 今後の更新で、共同発注の実績の一覧等のような項目を掲載してほしい。

（4）現状可視化

- 耐震化率の詳細な指標や、施設の長寿命化の指標、料金算定に関する指標について検討してほしい。